

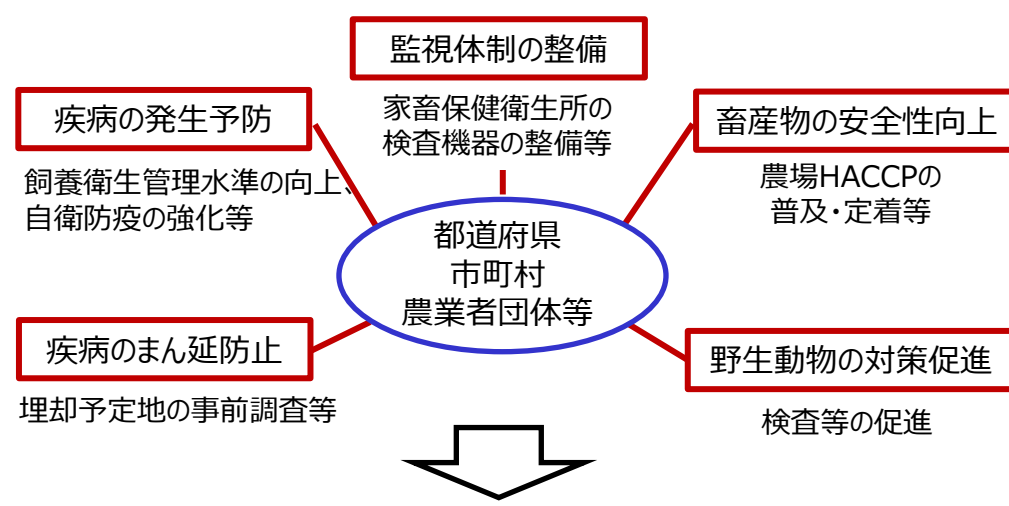
＜対策のポイント＞
都道府県等が地域の実態を踏まえて実施する、家畜の伝染性疾病に関する監視体制の整備、発生予防・まん延防止の取組、畜産物の安全性向上や野生動物の対策強化の取組を支援します。

＜事業目標＞
家畜の伝染性疾病に係るまん延防止措置が適切に実施されていないために疾病をまん延させてしまった事例の件数を0件とすること

＜事業の内容＞

＜事業イメージ＞

1. 監視体制の整備
家畜保健衛生所の検査体制を強化するため、検査機器の整備や検査の信頼性確保に向けた精度管理の適切な実施に向けた取組等を支援します。
2. 家畜の伝染性疾病の発生予防
① 地域一体となった防鳥ネットや消毒機器の整備等の飼養衛生管理水準の向上、養鶏場周辺のため池の落水等の野鳥飛来防止対策の取組を支援します。
② 民間獣医師や野生動物対策の専門家、農場の取引業者等のステークホルダーと連携した衛生指導・点検など、地域での自衛防疫を強化する取組を支援します。
3. 家畜の伝染性疾病のまん延防止
① 家畜の伝染性疾病の発生時に備え、地域で行う埋却予定地の事前調査や防疫演習を支援します。
② 家畜伝染病等が発生した際に、迅速かつ的確にまん延防止措置を講ずる取組を支援します。
4. 畜産物の安全性向上
HACCPの考え方を生産段階で活用した飼養衛生管理（農場HACCP）について、その普及・定着を図るため、認証取得、指導、取組の効果を検証するモニタリング検査等の取組を支援します。
5. 野生動物の対策強化
アフリカ豚熱及び豚熱対策として行う野生動物のサーベイランス（浸潤状況調査）について、検査の促進等を図るための取組を支援します。



豚熱、鳥インフルエンザ等の
家畜の伝染性疾病の発生予防・まん延防止の取組を支援！



（豚熱及び鳥インフルエンザの症状）

